



岡山県高梁市との歴史・文化交流の実施について

亀山市は、来る2月25日（日）に、亀山市文化会館大ホールにおいて、かめやま文化年2017の企画事業の一つとして、岡山県高梁市との歴史・文化交流を実施します。

本市と高梁市は、江戸時代に徳川幕府の命令による伊勢亀山領主・板倉家と備中松山領主・石川家が互いの領地を交換する転封（てんぽう）の歴史を共有している縁があることから、これまでから災害時相互応援協定の締結や、両市のライオンズクラブの姉妹提携、高梁中学校と亀山中学校の間での姉妹校縁組による相互訪問など、様々な面で交流を深めてきました。

そのような中、今年度は本市の灯おどり保存会と高梁市文化連盟が、「備中たかはし松山踊り」（高梁市にて開催）において“踊り交流”を行いました。さらには、亀山市歴史博物館での企画展の開催や、亀山市芸術文化協会の会員を中心とした、文化交流使節団の派遣など、様々な交流事業を展開してきました。

今回の交流事業は、その集大成として、本市に高梁市の皆様約20名をお招きし、高梁市の踊り団体である「踊りフレンズ」に松山踊りの披露を行っていただくほか、劇団 KAME μ による城主の交代を題材とした歴史演劇の上演、市内団体と踊りフレンズによる踊り交流などを行います。

また、会場では両市の物産ブースや、今年度実施した交流事業を紹介するパネル展示、歴史博物館が所蔵する備中松山城下を描いた実物の絵図などの展示を行います。

ぜひ多くの皆様にご参加いただき、両市の歴史・文化をお知りいただくとともに、交流を深めていただきたいと思います。